

市議会だより



TDKサッカー部全国地域リーグ決勝大会優勝を祝う会

12月定例会

平成18年度一般会計補正予算	P 2
一 般 質 問	P 3~11
請願・陳情、議決・意見書	P 12
討論・議会の動き	P 13
ふるさと会報告	P 14
委員会報告	P 15~16

一般会計 6,613万円を追加補正 総額137億2,036万円になる

12月定例会は、12月7日から22日まで16日間の会期で開かれました。

今定例会には、市開発公社経営状況報告、市基本構想の策定、一般会計補正予算、特別会計補正予算など2報告、15議案が提案され、議案はいずれも原案のとおり可決されました。

一般会計補正予算の主なものを紹介します。

一般会計12月補正予算概要 (金額は、千円以下切り捨て) △印は減額

【歳入】 (100万円以上のもの)

・鶴泉荘使用料 (商工使用料)	150万円
・被用者児童手当負担金 (民生費国庫負担金)	258万円
・特例給付負担金 (民生費国庫負担金)	△322万円
・被用者小学校修了前特例給付 負担金 (民生費国庫負担金)	360万円
・医療費適正化推進事業費補助金 (民生費国庫負担金)	125万円
・除雪車購入補助金 (土木費国庫補助金)	△697万円
・被用者小学校修了前特例給付 負担金 (民生費県負担金)	360万円
・保健基盤安定負担金 (民生費県負担金)	271万円
・医療費適正化推進事業費補助金 (民生費県補助金)	△125万円
・土地売却収入 (不動産売却収入)	2,540万円
・一般寄附金 (一般寄附金)	1,000万円
・財政調整基金繰入金	△706万円
・象潟中学校建設基金繰入金	450万円
・学校給食共同調理場建設基金 繰入金	3,260万円
・温泉保養センターはまなす施設 整備基金繰入金	225万円
・予防給付マネジメント介護報酬	149万円
・辺地対策事業 (土木債)	△550万円
・歩道用除雪機械購入事業 (秋田県市町村振興資金貸付金)	△330万円

【歳出】 (200万円以上のもの)

・通信運搬費 (一般管理費)	600万円
・光熱水費 (防犯街灯等対策費)	500万円
・通所型介護予防事業委託料 (地域支援事業費)	△332万円
・訪問型介護予防事業委託料 (地域支援事業費)	△369万円
・被用者児童手当 (児童福祉総務費)	382万円
・被用者小学校修了前特例給付費 (児童福祉総務費)	1,312万円
・特例給付費 (児童福祉総務費)	△319万円
・国民健康保険事業特別会計 繰出金 (保健医療費)	407万円
・暖冷房設備改修工事 (保健センター管理費)	△330万円
・秋田県経営安定資金融資保証料 補助金 (商工振興費)	204万円
・市道側溝改良工事 (道路橋梁新設改良費)	350万円
・備品購入費 (除雪費)	△1,521万円
・公共下水道事業特別会計 繰出金 (都市計画総務費)	△1,331万円
・備品購入費 (象潟中学校建替事業費)	450万円
・消耗品費 (象潟学校給食共同 調理場建替事業費)	720万円
・外構工事 (象潟学校給食共同 調理場建替事業費)	900万円
・備品購入費 (象潟学校給食共同 調理場建替事業費)	1,640万円
・一般職給与費	551万円

12月定例会 一般質問

一般質問は、十二月十一日、十二日、十三日に行われ、十六名の議員が総合発展計画や教育問題を始めとする諸問題について見解をただしました。

榊原 均 議員

- ◎企業商店等の後継者問題について
- ◎障害者の自立支援法改正について
- ◎教育問題について

佐々木 正明 議員

- ◎行政機構の見直しについて
- ◎合併により生じた不平等性について
- ◎友好都市との交流のありかたについて

加藤 照美 議員

- ◎平成十九年度予算編成について
- ◎放課後子供プラン実施について
- ◎消防団員の減少に歯止めを
- ◎消防団に原付自転車の配備について

池田 好隆 議員

- ◎防災士の育成について
- ◎上・下水道の汚泥の再利用について
- ◎合併一年の評価について

元気なまちづくりについて

- ◎石綿管へ水道管へ交換事業とガス管の交換事業について
- ◎各自治会へ集落への行政要望の整備促進について
- ◎観光振興について

伊藤 知 議員

- ◎庁舎方式について
- ◎増殖場造成について（築いそ沈石投入）
- ◎公益通報者保護法について（制定・運用）
- ◎いじめ問題について

佐々木 正勝 議員

- ◎地球温暖化対策
- ◎新エネルギー・省エネルギー対策
- ◎教育問題

齋藤 修市 議員

- ◎老人福祉について
- ◎身体的障害者福祉について
- ◎総合発展計画について
- ◎「放課後子供プラン」について

佐藤 文昭 議員

- ◎地域活性化について
- ◎「行政サービス調査」の新聞報道について
- ◎多重債務問題に市として相談窓口の設置を
- ◎高齢者地域支え合い事業の利便は受け入れ条件を充実して

佐藤 元 議員

- ◎総合発展計画（案）について
- ◎費用対効果について
- ◎住民サービスはどうあるべきか
- ◎菊池 衛 議員
- ◎現市道の全面再舗装について
- ◎企業誘致について

佐々木 弘志 議員

- ◎「行政サービス調査」の新聞報道について
- ◎今後の事務の執行体制について
- ◎自立のまちについて
- ◎公共公益施設の適正配置について
- ◎マスタープランの策定について
- ◎金浦地区の下水道の水質改善について
- ◎象潟地区の斎場管理について
- ◎日本経済新聞の「行政サービス調査」について
- ◎市長交際費の返還について

村上 次郎 議員

- ◎ゴミ問題、地球温暖化対策への取り組みを
- ◎多重債務問題に市として相談窓口の設置を
- ◎高齢者地域支え合い事業の利便は受け入れ条件を充実して

佐々木 正己 議員

- ◎市の入札制度の見直しについて
- ◎商店の後継者不足対策について

一般質問



均 議員
榊原

企業・商店等の 後継者問題について

質問 このいざなぎ景気の中、地方の零細、中小企業、個人の商店は、その実感が無いのが現状です。特に後継者不足は大きな問題です。このことに関してどのような認識をされているのか、また対策等考えていることがありましたらお聞きします。

市長 大変切迫した問題であると認識しております。今後は商工会と行政がよく連携をとりながら、議員から提案のありました商工会、金融機関、行政、そういう関係の機関が集まって商工業の活性化を図る組織を立ち上げ、有効な対策を講じてまいりたいと考えています。

障害者の自立支援法 改正について

質問 四月に自立支援法の改正があり、障害者の負担が前より増加しております。特に所得の低い人をどうやってサポートしていくかとしてお聞きします。

市長 この法の運営、事業体系

への移行について、いろいろな団体より不平不満がでています。そこで県市長会、東北市長会、全国市長会を通して利用者の軽減を図るように要望活動をしています。今国会で障害者が障害福祉サービスを受けた時、あるいは障害児施設支援を受けた時にかかる自己負担の額を現行の一割負担を凍結する法の改正が今、議論されています。市としても国の動向を踏まえながら今後の対応をまいりたいと思っております。



▲ 市内商店街のようす

行政機構の見直しについて

質問 現在の分庁方式について十月に知事の会見の中でも非能率的であると指摘されているようであり、市長の考え方をお聞きします。

市長 対等合併の観点から合併時において分庁方式を採用しています。今後は、必要に応じて組織機構を見直しながら、効果的で効果的な行政運営を進めてまいりたいと思っております。

質問 分庁方式の非効率な場合はどのようなことが考えられるでしょうか。

市長 行政部門ごとに三庁舎に分散しています。そのために住民が別々の部門にまたがる用件があった場合不便、負担が生じる場合があります。そのため各庁舎に市民サービスセンターで用件を足せるような体制を整え

ています。また職員間の連絡調整については、より連絡を密にして効果的な行政運営を行っていきたくと考えています。

質問 各庁舎に、その地域の特長にあつた各課を設けるべきでないかと思えます。特に観光についての問合せが多い象潟庁舎に観光課を配置するなど各地域に合わせた体制の見直しについての市長の考えをお聞きします。

市長 旧三町では、それぞれの地域特性に対処した組織運営のもとで行政運営を行ってまいりましたが、今後にはかほ市としてのまちづくりを推進していかねばならないと考えています。現段階で観光課を象潟サービスセンター内に配置することは考えておりません。



▲ 仁賀保庁舎



正 議員
佐々木

12月定例会



加藤 照美
議員

防災士の育成について

質問 災害発生時に頼りになるのが、自主防災組織と防災士の活動であると考えます。防災士を養成する事業を起すべきと考えますが、市長のお考えをお伺いいたします。

市長 自主防災組織を強化していくためにも、あるいはリーダーを育成していくためにも、こうしたカリキュラムを取り入れた講習会を消防本部で実施できるように今後検討をしてみたいと思います。

質問 上水道・下水道の浄化で排出される汚泥を農業用資材として活用できるように処理すべきではないでしょうか、市長のお考えをお聞きたいです。

市長 下水汚泥のコンポスト化の施設整備に取り組むという考え方はございませんので御理解をお願い申し上げます。

質問 放課後子どもプラン実施について、教育長に質問いたし



▲ 農業集落排水事業処理場

ます。
教育長 放課後子ども教室推進事業というのを教育委員会が実施する形で行ってまいります。

合併1年の評価について



池田 好隆
議員

質問 合併してから一年以上経過したわけですが、行政には休みがなく、停滞も許されないわけです。そこで合併1年の評価についてお伺いいたします。

市長 この一年間、公約に揚げたまちづくりの理念を実現するために努力を重ねてきたところでございます。しがらみのない公正な立場を守りながら市民と行政が協働する仕組みを構築し、各種施策を推進してきたところでございます。

質問 職員の能力向上についてですが、政策形成みたいなものをきちつとやれるような職員、あるいは専門職員、こういった人材育成を一年間どういう目で見えてきたかということをお伺いし



▲ 職員研修のようす

たいと思います。

市長 県町村会主催の各種研究会に積極的に参加させております。さらに全職員を対象に窓口を訪れた住民に対して説明責任を果たすための行政手続研修会を実施しております。次年度からは、県とタイアップして各種研修会に職員を派遣し、職員の能力の向上と意欲的な職員の育成に努めてまいります。

一般質問



本藤 敏夫 議員

地方自治体における 公共事業と談合関与 の事件について

質問 公共事業の発注に対して、全国的に問題となっているが、市長の所信を伺います。

市長 自治体トップや職員がこうした事に関係する事があつてはならない事なので、行政の責任者として今後も職員と共に市民に信頼されるよう襟を正して執行してまいります。

質問 市内に理設配管されている水道管の内、旧石綿管交換事業については全二十八km中、仁賀保地区、金浦地区が各二kmで残り二十四kmは象潟地区内であり、これの事業費を住民に使用料として転嫁させる場合、各地区関係で不公平感が生じてくるのではないのでしょうか伺います。

企業管理者 現在の水道使用料金は象潟地区が一番安い料金で金浦地区が最も高くなつており合併前に象潟地区の使用料を引き上げておけば良かったのですが、今後は市全体の施設整備も含めて統一したいと思つています。

市長 仁賀保地区、金浦地区の分については事業に要した起債（負債）も残っていると思うので理解をしていただきたいと思つています。

質問 にかほ市発足後の各自治会からの要望事項についての当局からの回答が通り一辺で不親切でないか、改善の余地はないのかお聞きいたします。

市長 予算がないから出来ないとは言つてないが、全体の中の緊急度や危険度によつての判断は必要です。その上で要望に対する回答も改善を検討していきたいと思つています。



▲ 横根浄水場（仁賀保）

増殖場造成について

質問 金浦地区の海岸に三年計画で築いそ事業の沈石投入を実施されてきたが、今後の計画を伺います。

市長 金浦地区での磯が近年磯焼けが著しい事を受けて、十九年度から三ヶ年計画で三千六百㎡余りに自然石を投入する計画になつており、併せて現在二十年度までの計画で赤石地先にアワビの増殖場の整備を行つていきます。又象潟地区でも同じく二十年度までの計画でハタハタの藻場礁の整備を千六百㎡の規模で事業継続中であり、今後も漁協や県と充分協議をしながら事業に取り組み、漁業者の経営安定に繋げていきたいと考えております。

質問 十八年四月一日から公益通報者保護法が施行されましたが、条例や



▲ 築いそ工事のようす

内部要項等を作成運用されているのか、また今後の整備について、計画があるのかも併せて伺います。

市長 国からのガイドラインが示されているので、これを参考にし、今後要綱を定めたいと思つています。

質問 全国的に問題となつているいじめ問題について、市の教育委員会ではどのような対応と調査、及び現状把握をしているのか伺います。

三浦教育長 これまでの定期調査と今般の件についての改めて調査を実施、本人からの訴えもいくつかあつたが、特に深刻なものではなかったし、今後も小さい情報でも詳細を把握しながら、子供の相談活動ももう少し充実していきたいと思つています。



伊藤 知員 議員

12月定例会



佐々木正勝 議員

地球温暖化対策による 市町村実行計画について

質問 にかほ市総合発展計画案が策定され、少子化、高齢化や高度情報化の進展、地球規模の環境問題の深刻化など社会情勢の変化は益々加速する事が予想されることを前文としております。基本構想及び基本計画で「環境にやさしいまちづくり」を基本理念として市民一人一人がゴミの減量化、リサイクル等循環型社会づくりの推進を掲げております。国においても平成十年に地球温暖化対策推進法を制定し市町村に実行計画策定を義務付けたが、市町村合併等で策定が進んでいないのが現状です。合併して一年が経過した現在、計画は策定済みなのか伺います。又県内二五市町村の状況についても伺います。

市長 二酸化炭素排出に伴う地球温暖化については確実に環境に影響を及ぼしております。地球温暖化対策の推進に関する法律によって国、地方公共団体も実行計画を定める事になっております。実行計画策定は平成十

八年三月末までとなっておりませんが、市町村合併があつた為策定出来ておりません。県内二五市町村のうち六市町村しか出来ていないのが現状です。にかほ市も現状分析した上で平成十九年度策定にむけて取り組みたいと考えております。

質問 法律では十八年度中に、実行計画を策定し十九年度から実施する事になっているが、どうですか。一ヶ月でも二ヶ月でも前倒し出来ないか、もし自治体で無理であれば委託発注はどうか。

市長 合併して一年間は総合発展計画や諸計画の策定があり、遅れたがそれなりに準備を進めております。

また今の段階で委託は考えておりません。



▲ 環境にやさしい風力発電



▲ 特養施設の様子

社会福祉への取り組みについて

質問 老人福祉について伺います。最近、特別養護老人ホームに入所を希望している老人が多く、空き待ちをして

いる人が四十数名いると聞いております。これからも増える事が予想され特養の増床も必要になると思えます。増床に関しては、よく議論して決める事が肝要です。そこで

①老人福祉に対する市長の基本的な考えを伺います。②現在特養を利用している人は何人で希望も含め倍率は何倍ですか。③介護する人がいない世帯は何人いますか。④予防対策に投資する計画はありますか。

市長 高齢者に対して私



齋藤 修 市議員

は敬愛の念をもって皆様の人生をお守りすると考えております。現在六五才以上の高齢者は七、八六〇名、その内一、一六九名が介護をうけており十五%にあたります。現在特養に一五五名、保健施設に百十八名、待っている人六七名で収容能力に対し一・三六%です。六七名の人は自宅で介護が難しい方と思えます。又出来れば自宅での介護を希望している人が過半数以上いると言うことも事実です。又機器を利用したパワーリハビリ教室等を実施し介護予防の実績を上げていきます。

身体的障害者 福祉について

質問 身体的障害者福祉について市長の考え方を伺います。先日障害者福祉大会に出席したが、一般の人、若い人の参加が無かったがこれで良いでしょうか。

市長 障害者の能力を最大限に発揮出来るよう関係機関と協働して取り組みたい。又福祉大会については多くの人が参加出来るよう協会と相談していきたい。

一般質問



▲ 市内図書館内のようす

害への備え、子育て支援のサービスでこれらの具体策を画に盛り込み市民協議する必要がある。⑤総合文化施設の整備について検討の進捗状況はどうなっていますか。⑥設の利用促進について住民検討委員会



竹内 賢員 議員

総合発展計画について

質問 ①にかほ市の将来像を決定する総合発展計画の素案が全員協議会で説明されたが、胸にびーんと響くものが感じられない。計画書を全世帯に配布し説明会を開く必要があると思うがいかがですか。②協働の街づくりを

と基本計画では異なるが、文化施設と体育館だけが特別扱いになる真意を伺います。⑦図書館のありかたについてどのような議論されたか伺います。

りを実行する為に情報の共有がポイントとなる。パソコン利用率やインターネット接続等の実態調査が必要と思うがいかがですか。③協働の街づくりについて住民参加型公募債の発行を提案します。④市民のアンケートによる街づくりの優先順位は医

市長 総合発展計画は要約したダイジェスト版を三月をめどに全世帯に配布する予定です。広報やホームページでも紹介しますので住民説明会は考えておりません。パソコンやインターネット接続状況についての調査は現在考えておりません。一番身近な広報をもっと充実させたい。又、住民参加型公募債については現時点では難しいが公募債による資金調達は検討します。

街づくりの優先順位の医療機関の充実是非常に難しい状況にあります。関係機関に働きかけていきます。総合文化施設検討委員会の状況については三月に報告したいと思えます。図書館の充実については、既存の施設を活用していきます。



▲ 在京ふるさと会のようす

地域活性化について

質問 都道府県別の将来推計人口は二〇三〇年まで人口の増えるのは東京・神奈川・滋賀・沖縄の四件のみです。北海道では一六%、秋田・山口・長崎では二〇%以上減少です。人口減が著しい地方の市町村などで大都市圏からの移住者を誘致する動きが盛んです。特に二〇〇七年から定年を迎える団塊の世代をターゲットにしたケースが多く、自然豊かで生活費の安い暮らしへのニーズがかなりあると思われれます。又、専門知識や技術・豊かな経験を持つ現役世代のUタ

質問 都道府県別の将来推計人口は二〇三〇年まで人口の増えるのは東京・神奈川・滋賀・沖縄の四件のみです。北海道では一六%、秋田・山口・長崎では二〇%以上減少です。人口減が著しい地方の市町村などで大都市圏からの移住者を誘致する動きが盛んです。特に二〇〇七年から定年を迎える団塊の世代をターゲットにしたケースが多く、自然豊かで生活費の安い暮らしへのニーズがかなりあると思われれます。又、専門知識や技術・豊かな経験を持つ現役世代のUタ



佐藤 文昭議員

市長 今回提案した総合発展計画の人口推計は、平成二三年には十七年対比で一四三七名の減で二七五三五名で五%の減少を見込みました。平成二八年には二九四八名少ない二六、〇二四名、率にして一〇%減少の推定ですが、いろいろ産業振興を図って二八、〇〇〇名に抑える計画を定めております。Uターンに関するアンケート調査や移住、定住したときに市としてのどのような支援をしたら良いのか、支援方法や医療費等その他の問題も含めて十九年度には窓口を設置し検討したいと思えます。

12月定例会



志 議員
佐々木 弘

「行政サービス調査」の 新聞報道について

質問 全国の福祉や教育などを総合的に比較する行政サービス調査の比較分析、東北六県分の記事が、日本経済新聞の東北版トップに掲載されています。記事の中で、「今回の調査では、秋田県にかほ市を除く七十三市から回答を得た」としており、なぜ東北でにかほ市だけかという疑問が生じたところです。

調査概要は、施設数や料金、制度など合計三十項目程度の調査のようです。なぜにかほ市だけが東北でただ一市回答できなかったのか、その理由をお尋ねします。

特別養護老人ホームの水準は、にかほ市がかなりいい水準であろうと思います。マイナスもあると思いますが、全国的に水準が極めて高いもの、これから頑張らなくてはならないものもあると思います。ですからこういうアンケート調査に対しては真摯にお答えしていただいた方がよろしいのではないかと考えています。

市長 最初にお詫びを申し上げます。調査は、総務部企画課で受領しましたが、私もあの新聞を見て初めて知ったわけで、それまで全然知らなかったわけです。

もし出していけば、東北の位置で、にかほ市がどのくらいのところサービス水準があるのかわかるので、大変残念だなど思っているところです。改めてお詫び申し上げますが、今後このようなことのないよう適切に処理をしてまいりたいと思います。



▲特別養護老人ホーム「楽しいわが家」

ゴミ問題、地球温暖化対策への取り組みを



次 議員
村上 郎

質問 地球温暖化問題には、人間の活動の影響で深刻な問題が出ていることが多く報道されています。

また、にかほ市でのゴミ処理の経費は、四人世帯では約三万四千八百円かかっています。

このほかに広域で事業等をすすめています。し尿処理、リサイクルへの支出額はどのようになっているのでしょうか。

市民部長 し尿処理費用は、平成十六年度は八千三百四十万円です。リサ



▲市清掃センター

イクル資源化施設には、平成十六年度九百二十万円ですが、リサイクルした分として五百二十万円入ってきております。

質問 県には、「環境優良事業所認定」制度があるようですが市として参加と認定取得をどのように考えているのでしょうか。

また、アイドリングストップ運動への参加についてはどうでしょうか。

市民部長 市として「環境優良事業所認定」の取得に努めてまいりたいと考えております。

アイドリングストップ運動には、積極的に取り組み、宣言をし登録していきたいと考えております。

質問 市内には、環境問題に取り組んでいる「オランの会」「三衛クリーンサービス社」があります。このような団体等への奨励、支援を拡充すべきだと考えますがどうでしょうか。

市民部長 これまで公共施設の無料使用の斡旋、リサイクル運動周知のための共同行動などを行ってきています。市として、環境問題に取り組んでいる個人や団体の皆さんとも共同した形ですすめていきたいと考えております。

一般質問



己正木 佐々木 議員

入札制度の見直しについて

質問 一般競争入札の導入を速やかに進めるべきと思いますがいかがでしょうか。

市長 平成十二年の国調で、にかほ市の建設業従事者の割合は、全就業人口の約10%に当たります。雇用の場の確保、地域経済への波及効果から、現段階では一部公募型を取り入れながらの指名競争入札でいきたいと考えています。

一般競争入札の導入については、他自治体の動向をみながら、今後検討を進めて行きたいと思えます。

質問 電子入札について、にかほ市の考え方がありますか。

建設部長 現在、県内の二十二県・市町村で秋田県電子入札共同利用連絡協議会を立ち上げています。市でも平成二十一年には電子入札を運用すべく研究中です。

商店の後継者不足対策について

質問 商店街では後継者不足か

らと思われる閉店が目立ちますが、市では現状をどのように把握しているのか。また、商工会等と対策に向けた話し合いの予定はあるのか伺います。

市長 各産業における後継者不足については大変厳しく、重要な課題であると受けとめていきます。

これまでも商店の活性化につながる各種支援を行ってきましたが、これからさらにどのような支援が必要かを、金融機関、商店及び行政、場合によっては消費者を含めた形の新たな組織を立ち上げて検討していきたいと考えています。



▲市内商店のようす

にかほ市総合発展計画(案)について

質問 ①行財政改革大綱プランと総合発展計画(案)との関係において、費用対効果の点で整合性が薄いように思われますがいかがでしょうか。

②合併時の売りは「住民サービスの低下はさせない」でしたが、地域住民からはさまざまな意見や不平不満があります。住民サービスは向上もあれば低下もあるものです。サービスの原点はどのようなべきかを伺います。

市長 ①基本構想の第六章に、効率的な行財政運営の推進として、市民ニーズに対応した施策の推進等を示しています。そして、市民参加を基本とした行政評価システムを導入し、最小経費で最大効果を生むような行政運営を図りたいと考えています。



元議員 佐藤



▲象潟庁舎の意見箱

②まちづくりアンケートの結果、市民の四人に一人が合併後の行政サービスが悪くなったと答えています。ただ、中には国の改革によって増えた負担を合併によるものと思っている市民がいることも確かです。いずれにしても、市民の望みは「負担は低く、サービスは高く」であろうと思えますし、各種補助金や事務事業を見直しながら、サービスの向上を図って参ります。

また、各庁舎ロビーに設置した意見箱で頂いた市民からの意見等も直接、市政に反映させていきたいと考えています。

12月定例会



▲市道の様子

質問 現存する市道は、経年による傷み、亀裂、陥没等で車で走行しにくい、水たまりなどで歩みにくいという箇所が数えきれないほど見られます。今後、壊れた順から改修してゆくのは当然であると考えますが、中長期的視野に立った計画も必要と思います。現道の再舗装整備についての当局の考え方を伺います。

市長 市道の維持補修については、順次巡回をして交通の支障のないように補修を行っています。経年による傷み、不等沈下、水道・下水工事等による沈下の激しい区間については、オ

ーバレイなどで対応しているところですが。今後は限られた財源の中で交通量や周辺の影響などを考慮しながら、計画的に実施をしてまいりたいと思います。

質問 今回計画をされている養豚場の進出も含め、今後の企業誘致についての当局の考え方を伺います。

市長 養豚場の進出については今年の二月に協定書の協議を行いたいという相手側の表明を受けて現在検討を重ねています。ただ市の上下水道などの水源上流域に大型の養豚業者が進出してきた場合、将来にわたって市民の水道水の安全についての不安は、ぬぐいさることができないのではないかと思います。企業誘致の考え方、姿勢については、地域の活性化や市民の雇用の場の創出のため誘致活動をしているところであります。ただ長年にわたり地域の先人達の苦勞を無にするような企業の誘致については、私はできないと考えています。



菊地 衛 議員

現市道の全面舗装と企業誘致について

金浦地区の上水道の水質改善について



勝清 佐々木 議員

質問 早急に金浦元町地区の水質改善対策事業を実施すべきと考えますがいかがでしょうか。私は、この水質改善対策事業こそ三町合併効果だと考えます。財政との兼ね合いもありましようが、市長の英断ある答弁を期待いたします。

市長 にかほ市が誕生し同じ市民としておいしい水を何とか将来的には供給したいものだと考えておりますし、私の公約でもあり、調査を行ってまいります。これからの金浦へ水の供給も含めて、にかほ市として三地区を一体化したような施設整備、これも考えていきたいと思っておりますので、担当部署に早速指示をしてまいりたいと、そのように考えていると



▲金浦浄水場

ところでございます。質問 行政コストの削減のためにも、私の考えでは分庁方式を長く取り入れることは決してプラスにならないと思っておりますが、いかがでしょうか。

市長 確かに効率が悪い部分があります。だからといって、何億もかけて新しい庁舎を建築したほうがいいかというのを考えますと、やっぱり私としてはこのままの分庁舎方式でいきたいというふうに考えています。

請 願

件 名	請願者の住所及び氏名	紹介議員の氏名	付託委員会	結 果
市道(546)水岡、横岡線の新設改良及び防雪柵設置に関する請願書(継続審査のもの)	にかほ市横岡字中屋敷16 横岡自治会 会長 佐藤 輝一 外1名	佐々木正明	産業建設	採 択

陳 情

件 名	陳情者の住所及び氏名	付託委員会	結 果
秋田県の医師不足を解消し、地域医療の確保を求める陳情書	秋田市中通6丁目2-1 秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中 村 秀 也	教育民生	採 択
「格差社会」を是正し、いのちと暮らしを守るために庶民増税の中止を求める陳情書	秋田市中通6丁目2-1 秋田県社会保障推進協議会 会 長 渡 辺 淳	総 務	採 択
「格差社会」を是正し、いのちと暮らしを守るために社会保障の拡充を求める陳情書	秋田市中通6丁目2-1 秋田県社会保障推進協議会 会 長 渡 辺 淳	総 務	採 択
療養病床の廃止・削減と患者負担増の中止等を求める陳情書	秋田市中通6丁目2-1 秋田県社会保障推進協議会 会 長 渡 辺 淳	教育民生	採 択
大規模養豚場建設計画に反対を求める陳情書	にかほ市象潟町字木戸口51-64 象潟自治会長連絡協議会 会 長 板垣晴一外9名	産業建設	採 択
森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める陳情書の提出について	秋田市中通5丁目9-16 森林労連秋田県協議会事務局内 秋田県「森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡協議会」 会 長 津 谷 永 光	産業建設	採 択
米価下落に影響を及ぼす低品位米と政府備蓄米の流通見直しを求める陳情書	南秋田郡大潟村西3丁目2-8 生き物共生農業を進める会 代 表 今 野 茂 樹	産業建設	不 採 択

決議・意見書

次の件について決議し、意見書については関係機関に送りました。

★秋田県の医師不足を解消し、地域医療の確保を求める意見書

★「格差社会」を是正し、いのちと暮らしを守るために庶民増税の中止を求める意見書

★「格差社会」を是正し、いのちと暮らしを守るために社会保障の拡充を求める意見書

★療養病床の廃止・削減と患者負担増の中止等を求める意見書

★森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める意見書

★大規模養豚事業に関する決議

十二月議会討論

討論のあつた議案等及び討論者です。内容については後日ホームページに掲載される「会議録」でご確認下さい。

反対討論

議案第一三二号
にかほ市基本構想の策定について
竹内 賢

議案第一三五号
秋田県後期高齢者医療広域連合の設置について
村上 次郎

賛成討論

議案第一三五号
秋田県後期高齢者医療広域連合の設置について
伊藤 知

陳情第一八号
米価下落に影響を及ぼす低品位米と政府備蓄米の流通見直しを求める陳情書
竹内 賢

議会の動き

年月日	行 事	場 所 等
H18. 11. 1	秋田県市議会議員研修会	秋田市文化会館
11. 13	秋田県市議会議長会臨時会	ホテルメトロポリタン秋田
11. 13	知事との行政懇談会	ホテルメトロポリタン秋田
11. 14	東北日本海沿岸市町村議会協議会中央要望	東京 国土交通省 地元選出国会議員 鳥海ダム調査事務所
11. 16	各期成同盟会地元要望（日本海沿岸道・松ヶ崎インター促進・本荘由利交通体系促進・鳥海ダム促進・羽越新幹線促進）	県庁 秋田河川国道事務所
11. 17	各期成同盟会地元要望（日本海沿岸道・松ヶ崎インター促進・本荘由利交通体系促進・鳥海ダム促進・羽越新幹線促進）	東京 東京プリンスホテル 仙台 東北地方整備局
11. 19	にかほの集い（ふるさとにかほ会）	東京 金田勝年参議院議員 財務省 JR東日本本社
11. 20	国道7号秋田南バイパス建設促進期成同盟会中央要望	
11. 21	各期成同盟会地元要望（国道7号秋田南バイパス建設促進・日本海沿岸道促進・松ヶ崎インター促進・本荘由利交通体系促進・鳥海ダム促進・羽越新幹線促進）	東京 海運クラブ
11. 21	日本海沿岸東北自動車道沿線市町村建設促進大会	東京 海運クラブ
11. 21	羽越本線新幹線直通促進大会	象潟庁舎議場
11. 24	議員全員協議会（総合発展計画案説明）	東京 台東区民会館
11. 26	ふるさと象潟のつどい（象潟会）	ホテルアイリス
11. 28	森・川・海の保全ネットワーク設立総会	象潟庁舎第1会議室
11. 30	議会運営委員会	象潟庁舎大会議室
11. 30	にかほ市開発公社役員会	東京 中野サンプラザ
12. 3	金浦ふるさと会（金浦ふるさと会）	象潟庁舎議場・他
12. 7	定例会（～22日）	象潟庁舎議場
12. 15	議員全員協議会	象潟庁舎第1会議室
12. 22	議会広報編集委員会	本荘由利広域行政センター
12. 26	本荘由利広域市町村圏組合12月定例議会	象潟庁舎第1会議室
H19. 1. 10	議会広報編集委員会	象潟シーサイドホテル
1. 19	林活議員連盟研修会	象潟庁舎第1会議室
1. 24	議会広報編集委員会	道の駅「象潟ねむの丘」
1. 31	遊佐町議会との交流会	

在京ふるさと会参加議員の声

在京ふるさと会（仁賀保 十一月十九日東京プリンスホテル、象潟 十一月二十六日台東区民会館、金浦 十二月三日中野サンプラザ）に参加した議員の中から、各ふるさと会について三名の報告を掲載します。

プログラムに工夫を！

本藤 敏夫

これまで毎年のように参加していたことから参加者の面々は「お久しぶりです・」の挨拶ですむ。参加者との会話で、都市対抗野球に応援は？の質問には「ドームで応援した」が意外に多かった。集いの内容には「プログラムがマンネリ化している。」の意見が多かった。驚いたのは「広報にかほ」をよく読んでくれること、市政に関する質問が細に亘っていて、ふるさとへの思い入れの深さを感じた。

今後のふるさと集いのあり方としては、二十年度から統一化することに協議されているが、これに関しての参加は？「今からはなんとも言えない。」が多かった。金浦会の会長さん、象潟会の監事さんも出席されて同席、交流することができた。これからの「ふるさと会」

の持ち方としてはそのプログラムの在り方が参加者の多少に影響すると思う。

「笑顔満喫」

金浦ふるさと会

佐々木 正勝

十六回目を迎えた「首都圏金浦ふるさと会」が十二月三日（日）・東京中野区にある「中野サンプラザ」で開催され、この日を待ちわびた首都圏在住者・金浦一般参加者・市関係者が



▲「にかほ」の集いのようす

出席して近況報告や昔話で和やかな雰囲気包まれ、中には四十年ぶりの再会で顔と名前が一致せず時の流れを感じざるをえない場面もあったようです。

また会の中では、「夢ある・豊かで・元気なにかほ市」のビデオが紹介され、恒例の抽選会では当選番号に一喜一憂、「笑顔満喫」の時を過ごし、改めて「首都圏在住者が自慢と誇りをもてる『ふるさとづくり』に努め、この絆を大事にしていきたい。」と強く思いました。

盛り上がった 象潟ふるさと集い に参加して

佐々木 正明

今回のふるさと会参加については、議員全員協議会でいろいろと議論し、仁賀保地区、金浦地区、象潟地区の三つに分散して実施されているふるさと会を「にかほ市ふるさと会」として、一緒にやってみようという意向に意見交換することや、にかほ市になって選挙後の初めてのつどいでもあり市議会議員として、ふるさとを想う会員の皆さんと情報交換をするという目的

をもって参加しようと決めて出席しました。

「ふるさと象潟のつどい」には一八九名の参加があり、二十七名のふるさと宣伝大使の委嘱状の交付や紹介もあり、出席した八名の議員とにかほ市の観光のあり方や課題について意見交換しました。会員の皆さんと昔話や近況等に花を咲かせながら、何組もの皆さんと一緒に写真を撮ったり、肩を組んで「ふるさと」を全員で歌い、最後まで盛り上がり、とてもすばらしい「ふるさと象潟のつどい」でした。

在京ふるさと会

参加議員名

仁賀保 (議席番号順)

飯尾善紀、宮崎信一、佐藤文昭、小川正文、加藤照美、村上次郎、菊地衛、佐々木清勝、佐藤元、斎藤修市、本藤敏夫、竹内睦夫

金浦

佐々木正勝、伊藤知、佐々木弘志、竹内睦夫

象潟

市川雄次、池田好隆、佐々木正明、佐々木平嗣、池田甚一、佐々木正己、山田明、竹内睦夫

委員会報告

教育民生常任委員会

今定例会、委員会での審査の主な内容について報告します。

《秋田県後期高齢者医療広域連合の設置》については、国の医療制度改革の法律により七十五才以上の医療に関する事務を、県を一つの単位として運営するもので先の九月議会でその準備のための予算を可決、支出しており、今回はその規約を定めるために構成する二十五市町村の議会の議決が必要というものです。広域で運営することにより財政的リスク分散、事務コスト削減等のメリットはあるものの、制度そのものへの反対や国の制度押し付けの姿勢、自治体の負担増等の不安、不満から委員会では可決に至りませんでした。

《医師不足解消と療養病床削減中止を求める陳情二件》については、全国的傾向、県内や市内地域の実情等を精査し、非常に深刻な現況であると判断、採択と決しております。

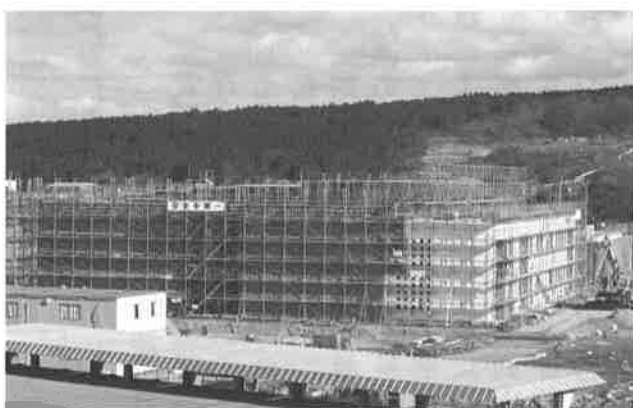
《補正予算では、象潟中学校及び給食共同調理場の建設》について、それらの必要備品の購

入、食器類と運搬車二台の更新、外構工事等が計上され、特に食器類については安全性、機能性、耐久性等の観点から詳細に審査しました。その他、各施設の燃料費高騰による増額や終了した事業の精算も盛り込まれております。

《簡易水道》については、市内全体の将来計画立案のための予算も計上されておりました。

教育民生常任委員長

菊地 衛



▲建設中の象中体育館

産業建設常任委員会

本定例会に付託された議案、陳情ならびに継続審査となっていました請願について報告いたします。

《にかほ市農業集落排水施設等に関する条例の一部を改正する条例制定について》は、合併協定の項目において統一することにしていました。現状の使用水量が算定されない人頭制（仁賀保地区）による方法では、流入量の一定しない状況もあり、そのことにより処理方法にも影響があり、今後の適正な維持管理を保つには使用水量に見合った平等な料金体系で統一することが必要となり今回改正するものであります。この条例は平成十九年四月一日から施行されます。

《大規模養豚場建設計画に反対を求める陳情書》は、象潟町横岡地内に大規模な養豚場計画があり、これに反対する陳情であります。建設予定地は本市の上水道や簡易水道の水源となる表流水、伏流水の取水施設の上流域にあたることから、このまま計画が進行し工事に着工稼動



▲金浦浄水場

した場合、水道水クリプトスポリジウム対策に多大な費用を費やすほか、多くの地域住民に将来とも不安を与えることになると考え、全員の賛成で採択となりました。他六議案は可決、陳情十七号は採択、十八号は不採択、継続審査は採択となりました。

産業建設常任委員長

宮崎 信一

委員会報告

総務常任委員会

当委員会に付託された議案三件と陳情二件について、審査の結果を報告します。

《にかほ市基本構想の策定について》は、全体としてそれぞれの項目は網羅されているが、①新しいにかほ市としての独自性やめざすべき方向が抽象的であること

②主要課題に、にかほ市教育の基本理念をうたうべきであること。



▲現在の象潟中学校（手前）とサンロックオーヨド跡地

③この後に策定される基本計画及び実施計画には基本構想の理念を反映してほしいこと
以上三点の意見を附し可決しました。

《秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について》は、消防組織法の一部改正による条文の変更、また《秋田県市町村会館管理組合規約の一部変更について》は、合併による自治体の減少や地方自治法の一部改正によるもので二件とも可決しました。

次に《格差社会を是正し、いのちと暮らしを守るために庶民増税の中止を求める陳情》及び《格差社会を是正し、いのちと暮らしを守るために社会保障の拡充を求める陳情》は、いずれも願意妥当で採択しました。
次に一般会計予算特別総務小委員会の《平成十八年度にかほ市一般会計補正予算（第六号）》は可決いたしました。

総務常任委員長

池田 好隆

編集後記

昨冬の大豪雪から一転。今年の暖冬は、まだ冬が来ていないのでは、と思わせるほどです。
CO₂バランス崩壊による地球規模の温暖化問題。地球規模と言われるとピンと来ないし、他人事と思われがちですが、実は私たちの日常に大きな影響を与えている身近な問題なのです。

日本の最大の政治問題たる少子化問題。少子化と高齢化は本質的には全く別問題なのに、少子高齢化とひっくり返る言われるのも、まさにバランスを意識してのものと思います。

都市と地方の格差。政治家の中には遠回しながら地方切捨てを公言する人もいます。国家を、船首Ⅱ地方、船尾Ⅱ都市の船にたとえた場合、バランスよく浮かばない船はいずれタイタニック号になってしまうわけですね。

首長と議会、まさにバランスを必要とする間柄です。これまでも実質的に不均衡であった両者の関係を正位置に戻すべく、地方議会制度の改正も行なわれ始めています。ただ、制度が変わら



▲林活議員連盟の研修会（右上：講師の阿部勝行氏）

つても当の議会が従前のままでは暖簾に腕押しです。

昨年、議員全員の任意参加による「にかほ市森林・林業・林産業活性化推進議員連盟（略称「林活議員連盟」）が発足し、一月十九日に、秋田県森林組合連合会代表理事会長阿部勝行氏を講師にお招きしての第一回研修会が開かれました。

新しい時代の今後において、議会が一つの組織としてどのように自らを律しながら、その責務と役割を果たしていくのか、その意味でもこの議員連盟をぜひ初めの一步としたいものです。

議会広報編集委員

市川 雄次